

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【公開番号】特開 2018-201546 (P2018-201546A)

【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-050

【出願番号】特願 2017-106393 (P2017-106393)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 3 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 4 F

A 6 3 F 5/04 5 1 4 G

A 6 3 F 5/04 5 1 4 H

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 22 日 (2020.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3 つ以上の回胴と、前記回胴を回転開始する始動レバーと、回転している前記回胴を各々停止させる停止ボタンとを備える回胴式遊技機であって、

第 1 の抽選テーブル及び前記第 1 の抽選テーブルよりも遊技者にとって有利な第 2 の抽選テーブルを備え、前記第 1 の抽選テーブルに従って役抽選を実行する低確率区間と、前記第 2 の抽選テーブルに従って役抽選を実行する高確率区間とを選択的に発生させる確変発生制御手段と、

前記低確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って全回胴を回転開始し、回転した全回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって各々停止させる低確率時回胴制御手段と、

前記高確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って一部のみの回胴を回転開始し、回転した回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって停止させる高確率時回胴制御手段と、

該高確率時回胴制御手段は、遊技者による始動レバーの操作に伴って回転開始させない前記回胴を抽選により決定する非回胴決定手段と、

を有していることを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項 2】

3 つ以上の回胴と、前記回胴を回転開始する始動レバーと、回転している前記回胴を各々停止させる停止ボタンとを備える回胴式遊技機であって、

第 1 の抽選テーブル及び前記第 1 の抽選テーブルよりも遊技者にとって有利な第 2 の抽選テーブルを備え、前記第 1 の抽選テーブルに従って役抽選を実行する低確率区間と、前記第 2 の抽選テーブルに従って役抽選を実行する高確率区間とを選択的に発生させる確変発生制御手段と、

前記低確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って全回胴を回転開始し

、回転した全回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって各々停止させる低確率時回胴制御手段と、

前記高確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って全回胴を回転開始し、回転した回胴のうちいずれかを遊技者の操作によらず自動停止させた後、残りの回転している回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって停止させる高確率時回胴制御手段と、

該高確率時回胴制御手段は、遊技者の操作によらず自動停止させる前記回胴を抽選により決定する自動停止決定手段と、

を有していることを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の回胴式遊技機において、

前記高確率時回胴制御手段は、操作により停止させる前記回胴により前記役抽選に当選したと見做す見做し当選手段、を有していることを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、3つ以上の回胴と、前記回胴を回転開始する始動レバーと、回転している前記回胴を各々停止させる停止ボタンとを備える回胴式遊技機であって、第1の抽選テーブル及び前記第1の抽選テーブルよりも遊技者にとって有利な第2の抽選テーブルを備え、前記第1の抽選テーブルに従って役抽選を実行する低確率区間と、前記第2の抽選テーブルに従って役抽選を実行する高確率区間とを選択的に発生させる確変発生制御手段と、前記低確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って全回胴を回転開始し、回転した全回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって各々停止させる低確率時回胴制御手段と、前記高確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って一部のみの回胴を回転開始し、回転した回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって停止させる高確率時回胴制御手段と、該高確率時回胴制御手段は、遊技者による始動レバーの操作に伴って回転開始させない前記回胴を抽選により決定する非回胴決定手段と、を有していることを特徴とする回胴式遊技機である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明は、3つ以上の回胴と、前記回胴を回転開始する始動レバーと、回転している前記回胴を各々停止させる停止ボタンとを備える回胴式遊技機であって、第1の抽選テーブル及び前記第1の抽選テーブルよりも遊技者にとって有利な第2の抽選テーブルを備え、前記第1の抽選テーブルに従って役抽選を実行する低確率区間と、前記第2の抽選テーブルに従って役抽選を実行する高確率区間とを選択的に発生させる確変発生制御手段と、前記低確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って全回胴を回転開始し、回転した全回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって各々停止させる低確率時回胴制御手段と、前記高確率区間において、遊技者による始動レバーの操作に伴って全回胴を回転開始し、回転した回胴のうちいずれかを遊技者の操作によらず自動停止させた後、残りの回転している回胴を遊技者による停止ボタンの操作によって停止させる高確率時回胴制御手段と、該高確率時回胴制御手段は、遊技者の操作によらず自動停止させる前記回胴を抽選により決定する自動停止決定手段と、を有していることを特徴とする回胴式遊技機である。